

○議長（吉田敏郎）

引き続き一般質問を行います。

3番、武井正広議員、どうぞ。

○3番（武井正広）

皆さん、おはようございます。3番、武井正広です。

通告に従いまして、1つ質問をさせていただきます。公園や駅前緑地の維持管理について問う。

最近の町内各所公園や駅前は、除草作業の頻度が低いのか、春から秋まで雑草が繁茂している場所が多いです。特に、駅前公園や駅を利用する町民からは、「繁茂があまりにひどい」との意見を数多く頂きます。また、雑草の繁茂が続くことで、ごみのポイ捨ても散見され、このような状態が続くと治安の悪化も懸念されます。

本町では平成21年、開成町きれいなまちをつくる条例を制定し、また、「日本一きれいなまち」というスローガンも掲げています。第五次開成町総合計画では、快適な公園環境を維持するため、除草作業の適切な実施、植栽の適切な管理、公園施設の計画的な改修、更新に取り組むとともに、町民と協働による公園の維持管理施策として公園ボランティアの推進を掲げています。

公園や駅前緑地は、本来、町民の憩いの場であり、生活に潤いや安らぎを与えてくれる場所です。子ども達が安心して遊び、大人たちも気持ちよく集う明るい公園、また、夜間も安全できれいな駅前であってほしいと願っています。そのためには公園や駅前緑地の維持管理業務の改善が必要と考え、次の事項を問います。

1、公園、駅前緑地の維持管理業務の現状は、2、公園ボランティアの現状と課題は。

よろしく申し上げます。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、武井議員の御質問にお答えをいたします。

樹木等の緑地については、景観の向上のほか、ヒートアイランド現象の緩和など都市環境の改善、多様な生物の生息・育成の空間など様々な効果があり、良好な環境と快適な市街地の形成を図るため、緑地の維持は大切なことと考えております。

本町においても、都市化の進展により農地の宅地化が進むなど身近な緑が減少しており、公共用地における緑地の保全が大切であると認識しております。道路や公園など公共用地においては、その施設本来の機能を踏まえ、緑地の存在効果や多様化する町民の関心に対応するよう緑地の確保に努めております。

また、地域住民の方々との協働の取組として、公園や道路への愛着心と環境美化意識の高揚を図るため、公園・道路緑地ボランティア制度により、公園や道路緑地の維持管理について御協力をいただいております。

では、1つ目の公園、駅前緑地の維持管理業務の現状について、お答えをいたし

ます。

公園は、地域住民の憩いの場のほか、地域の交流拠点や災害時の避難場所等の機能を有しております。また、道路の緑地は潤いある道路環境を創出しており、町民の方が安心して通行ができるよう維持管理に努めております。

公園や西口駅前広場の緑地については、開成町シルバー人材センターに除草作業を委託し、年3回程度実施をしております。高木の剪定については、樹木の育成状況を見ながら、造園業者により適宜実施をしております。平成27年度からは、年間を通じた適正管理を狙いとしてシルバー人材センターと派遣契約を締結し、草刈りや低木等の剪定について、必要な箇所を迅速に対応できるよう機動的な維持管理に努めております。

一方で、開成町南部地区土地区画整理事業により、みなみ中央公園など五つの公園が整備されるなど、シルバー人材センターに委託している公園等の緑地が従前より増加し、作業時期が集中する状況があり、今年度からは一部の公園において専門業者に夏季の除草を委託し、良好な環境の維持を図っております。しかし、町内の大小様々な45か所の公園等のほか、町道においては開成駅周辺やみなみ地区の道路緑地、また、場所によっては道路に沿った官地からの雑草の草刈りなど、かなりの面積の公園、緑地の維持管理を行っている中では、一時的に雑草が繁茂してしまうことがあると思っております。全ての公園、緑地を常にきれいな状態に保つことは難しいことではありますが、限られた予算を有効に活用するよう、状況をよく確認しつつ、町全体のバランスも踏まえ、効果的な維持管理を進めていきます。

次に、2つ目の公園ボランティアの現状と課題について、お答えをいたします。

平成24年3月から始めた公園ボランティア制度は、平成29年8月に道路緑地も活動の対象に広げて、町民と町が一体となって協働のまちづくりを推進し、公園や道路への愛着心と環境美化意識の高揚を図ることを目的に取り組んでおります。このボランティア制度では、団体でも個人でも、町内に限らず町外の方にも登録いただき、身近な公園や道路において無理のない範囲での活動をしていただいております。

令和2年10月末現在、公園については14の団体及び個人、道路緑地については8の団体及び個人の多くの方々に登録をいただき、身近な公園等において、ごみの収集、樹木・花壇の維持管理、除草・草刈りなどを行っていただいております。この活動に感謝を申し上げます。

町としては、ボランティア登録時に把握する活動内容について、適宜御連絡をして、その活動状況を確認させていただくとともに、活動に必要な手袋やごみ袋等を配付をさせていただいております。現状、皆さんに活動状況を聞いている中では、御意見等は特に伺っておらず、課題等はないものと考えております。

また、平成29年度からは、ボランティア活動の充実・発展を図るよう、緑地の専門家である樹木医を講師とした研修会を開催しています。今年度はコロナの影響で研修会の開催は見送りましたが、今後も、このボランティア活動を、さらに充

実していくよう引き続き取り組んでまいります。

以上であります。よろしくお願いいたします。

○議長（吉田敏郎）

武井議員。

○3番（武井正広）

一定の答弁をいただきましたので、再質問をさせていただきます。

まず最初に、町長に「日本一きれいなまち」というスローガンについて少しお伺いさせていただきます。このスローガンは、私は大賛成です。きれいな町というのは、誰もが気持ちがいいことです。全町民の皆さんが賛成だと思います。先ほどの答弁でもありましたが、開成町は様々な形態の公園が45もあると。この小さな面積の中で、非常に多いと思います。これは、幸せなことだと思います。駅前にも、緑がいっぱいです。すばらしい環境だと思います。

そして、公園や駅前緑地は町民の憩いの場であり、生活に潤いや安らぎを与えてくれる場所です。子供たちが安心して遊び、大人たちも気持ちよく集う明るい公園、また、夜間も安全できれいな駅前であると思います。そして、町中にも河川にも、ごみも落ちていない、きれいな町であってほしいです。そんな町であれば、町民の皆さんをはじめ町外の皆さんも、「開成町っていいな」、「きれいだな」、「また来たいな」、「住みたいな」というふうになると思います。すばらしいスローガンです。

町長に伺います。町長の目指す「日本一きれいなまち」とは、具体的には、どのようなものですか。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

町の総合計画に沿って町は運営・維持をしておりますけれども、その中で、なかなか総合計画というのは難しい部分があるので、私としては分かりやすく、町民の皆さんと一緒にいい開成町をつくっていただきたいということで、「日本一元気なまち・日本一健康なまち・日本一きれいなまち」という3つのスローガンを掲げさせていただいて、今、活動しておりますけれども、その中の「日本一きれいなまち」というのは、今、言われたように、もちろん公園等の見た目の維持管理も大事ですし、ごみ等が落ちていないようなクリーンな町というのも大事ですし、また、それぞれ人に優しい心の中のきれいというものも含めて、身体ともに大事なところがたくさんあると思っております。

そのトータルの中で、開成町のブランドイメージの中にそれをプラスアルファしていくということが、今、大事な我々の課せられた使命だと思っております。開成町のブランドイメージプラスするというのは、結果的には、開成町のファンをたくさんつくって開成町に移り住んでもらうと、人口増につなげるということが最終目標の中で全て事業を行っておりますので、役割等も含めて。

常に年間、きれいな町、公園であればいいのですけれども、なかなか今回、今年は特に天候の関係、言い訳になりますけれども、天候の関係もあり草木の生えが早かった。という中に、さらにプラスアルファとして、県のほうからサイクリングコースの町への移管や、区画整理事務所の中で五つの公園や緑道が今年から開成町に移管された、譲渡されたということで、例年よりはたくさん、今までよりは緑地の部分の維持管理が増えてしまうと。そういった中で、町のシルバー人材センターにもお願いしているわけですが、それが重なった時期の中でなかなかできない部分もあったということは、確かに、そのとおりであります。

その中で、なかなかできない部分においては、職員自ら率先して草刈りをしたりというふうな形で対応はしておりましたけれども、なかなか、一時的に、全部が、写真を提供いただきましたけれども、そのような部分が出てしまったということは反省をしながら、来年度に向けて、その辺はきちんと効率よく維持管理ができるような体制を考えていくということが必要だと、今、考えております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

武井議員。

○3番（武井正広）

町長から「日本一きれいなまち」という、ある程度、具体的なイメージを話をいただきました。見た目、それから、見た目だけではなくて町民の皆さんのきれいな心を含めたことだと。で、ブランドイメージを高めていって、外からも人に入ってきてほしいという話でしたが、そうはいつでも「日本一」という言葉を使っているわけですね。これはやっぱり重い言葉であって、町の人たち、それから外の人たちからしてみても、「「日本一」と言っているんだから、ちゃんとやっているんだよね」と思ってもおかしくないわけです。

その中で、「今年は」ということで、町長、少し言い訳を言っておられましたが、天候の関係、サイクリングコースが移管された、五つの緑道も移管されたので大変だったと。そこは、あまり言い訳にならないのではないのかなと、正直、思うところもあります。

そんな話がある中で、今回、草が特にひどいのが夏場、春から秋にかけてなので、今の段階ではかなり除草作業ができていますので、喉元過ぎれば忘れてしまうのではなくて、やっぱり思い出していただくということで、9月から10月頃の、一例ですけれども、議長の許可を得まして資料の写真を三つほど提示させていただきました。現実が、これですからね。まず、現実からしっかり見ていただきたいのですが、3枚ありますけれども、皆さんのパソコン上には行っていると思うのですが、1枚目が駅前西口ロータリー、2枚目が駅前第1公園、それから3枚目がみなみ中央公園、これは全体の中のほんの一部なのですけれども、私が撮ったものなのです。

駅前ロータリーのところは、見ていただいて、駅のほうへ向かっていくと、吉田島高校さんが管理していただいている花壇のところは非常にきれいなのです。花も

きれいですし、除草もされているし。ところが、その後ろ、これは、ひどいなんていうものではないですよ。それから、駅のロータリーの中から外の緑地にしても、とても一時的というようなレベルのものではないと、私は一般的に、普通に見て感じます。

同じように2枚目の駅前第1公園、ありますけれども、どうでしょう。あまり一時的とか、そういう言い訳ができるレベルのものではないと思いますね。トイレの前が、これだけ。もう、草ぼうぼうとか、そういう次元の話ではないですね。

それから、3枚目のみなみ中央公園、どうでしょう。開成町で最も洗練された新しい地域です。みなみ中央公園、南小学校のすぐ隣ということですが、もはやジャングルに近いのではないかと思うぐらい、ひどい状況。とても、本当に一時的な繁茂とは思えないです。正直、開成町の住民として恥ずかしい。

事前に見ていただきましたけれども、改めて、町長、この写真を見て具体的に何を感じられますか。それから、日頃、駅前周辺とかも見られることが多いと思うのですが、このような状態をどう思われたでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

確かに、改めて、今、写真を見させていただいて、すごくひどいなど。町民の皆さんが誇れる場所ではないなというふうには感じております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

武井議員。

○3番（武井正広）

そうですね。「改めて見て」と言いますけれども。恐らく、職員の方にしても、今、6割の方は町外の方がいるわけですから、開成駅を使ったりする方もたくさんいらっしゃるわけ。もちろん駅前を車で移動される方もたくさんいらっしゃる中で、春から秋までのこの状態をどう思われていたのかなと、すごく疑問に感じますよね。町長をはじめ、やはり町の姿勢が今、こうなっているのではないのかなと思うところがあります。もう、明らかに、町長がおっしゃるように、汚い状態が続いていたと。しかも、今年1年だけではなくて、近隣の方から話を聞けば、ここ最近、何年もだよという話も聞きます。

平成21年に、開成町は「きれいなまちをつくる条例」を制定されました。その中に、第3条にこうあります。町の責務、町は町民等の町を美化する心を育み、清潔で美しいまちづくりの実現のために必要な施策を実施するとともに、町民等及び事業者が行う自主的な活動を支援するよう努めなければならない。町民等の責務もあります、4条に。町民等は、町を美化する心を育み、清潔で美しいまちづくりの実現に努めるとともに、この条例の目的を達成するために実施する町の施策に協力するよう努めるものとする。こういうことも書かれているわけです。もう10年以

上たちますけれども。

とはいえ、この写真の現状、そういったところ。町長も「非常に汚いな」と言うわけですが、町民の皆さん、具体的に駅を利用する方だとか近隣の方にいろいろお話を伺いましたけれども、「もう本当に汚い」、「本当にあきれちゃう」、「どうなっているんだろう」と。「ここ最近、特に、本当にひどい。開成町の顔でしょう、駅周辺は」と言う方もいます。

やはり、みんなできれいにしていかななくてはいけないわけじゃないですか。45もあるわけですし、町の姿勢の問題もあるかもしれない。だけど、町民にも、そういう責務があるわけなのです。ですから、一緒にきれいにしていかななくてはいけないのだけれども、改めて、何でこんなにひどいのかということを考えなくてはならない。その理由は、何なのでしょう。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

まず、今回、議員御指摘というところで、公園管理を所管してございます街づくり推進課としましては、現場の確認というのが大きくできなかった、そこが十分というか、されなかったという結果だと感じております。これについては、本当に一番大きく反省しなければいけないと思っております。コロナ禍で様々な影響等もあったかとは思いますが、まずは管理者として、そういったような現場の把握自体が十分ではなかったこと自体が、このような形の中での状況があったと思っております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

武井議員。

○3番（武井正広）

現場の確認をしていなかったから、ここ何年も、春から秋まで、こういう状況が続いていたということだけが原因なのですか。先ほどの答弁を聞きますと、年間3回程度、シルバーさんに除草作業はしてもらっていたと。だけど、現場を確認していなかったから、こんなになってしまったのだと。何か、ちょっと、よく、その辺、分からないところがあるのですけれども、どうなのでしょう。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

年間の管理について、ここ数年、もうちょっと前からですかね、管理の程度ということは変わってございません。むしろ、公園・緑地等が増えておりますので、予算的なものでいうと増えている状況がございます。ただ、各公園等については3回程度という形の中で行ってございまして、管理の程度を下げたはございませんけれども、

ただ、現場の状況を確認しつつ、入っていただくタイミング等によって、なかなか、「一時的」という言葉が先ほど町長答弁でございましたけれども、もう少し長いスパンが生じた部分の中で、良好ではない状態が続いてしまっていたという部分があると思っております。

これについて、町側としても、ある程度、見た中では、何とか早めに入れなかつたかとかという部分をお願いしたこともございました。ただ、最終的に、実施いただく作業期間として、主には開成町シルバー人材センターさんをお願いしておりましたけれども、そうではなかったような時期がありましたので。今年度については、夏季の除草については、専門業者さんに入っていただくというような工夫もしているというところでございます。ただ、その工夫というものについても、なかなか、そういったものが効果が十分に表われていなかったのかなと感じているところでございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

結果からしてみると、その工夫は現れていなかったということですね。ですから、夏場、こういう状況になっているのですけれども。

まず、では、シルバーさんの除草、3回というのは、これで足りるのですか。結果として、3回やられていて、もし、この写真のような状況だということは、まず、根本的に、そこからして足りないということなのですかね。どうでしょう。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

年3回程度という形で考えておまして、基本的には3回、行っているというところでございます。その中で、3回では足りない場合に関しては、シルバー人材センターさんとは派遣業務委託という形の中で、町が直接、機動的に作業を依頼する、そういった形態も取っておりますので、そういった部分の中で補っていくというようなことの中で考えておまして。実質、その辺は、その年その年の天候であったり、状況に応じて繁茂してくることが変わりますので、それに応じた形の中で考えていくというところで思っております。ですので、3回というのは基本的なところで、その状況を見てやらなくてはいけなかったことが、今年は全くできていなかったと思っております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

最初のときに管理が、見ていなかったというところもあつたり、話をされて3回

ぐらいお願いしながら、機動的にもお願いして、できないところは造園屋さんとかにも依頼していたけれども、こうだったと。これ、思うに、よく一般的に最近の除草は年間4回ぐらい必要ではないかと、いろいろなところで話を伺います。その中で、結果的にできていなかったわけですから、予算面というのが、この辺は足りていたのですか、それとも、やっぱり足りていないからできていなかったのか、そこはどのようなのでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

予算というお話が出ましたので、今年度の予算の大体、総額という形で申し上げますと、まず、派遣業務の関係ではおよそ800万程度、そして道路の緑地の関係でいうと、およそ、やはり800万程度、そして公園の緑地の関係等に関しては600万程度でしょうか、合わせて2,000万ちょっとだと。

これについては、トイレの清掃であったり美化清掃等も含んでいますので、およそ概算という形で捉えていただきたいと思うのですが、予算の部分で申し上げますと、効果的な支出というのですか、そういったものが、まずは必要だろうなど。足りているか足りていないかというならば、まずは、そういったような適切な時期にもうちょっとやっていくなれば、この予算的には十分だろうとは思いますが、今年度、そういったものが十分に活用が図れていなかったということがありますので、これまでの、ここ数年、ちょっと悪かったというのは御意見をいただいておりますけれども、過去の状況等から見ると、ある程度、この予算の枠の中で、もう少し工夫をして改善しながらやっていけば足りるかもしれないというようところで捉えております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

今、課長のほうから「足りるかもしれない」という話があったのですが、とにかく、今年の冬は、もう、冬になってしまったので、今からこうはならないですけれども、来年以降も緑は毎年毎年同じことが起きるわけであって、来年、これであっては困るわけです。これは、町民の総意だと考えています。そのときに、「足りるかも」という。もし足りないのであれば、きちんと予算を考えていかななくてはいけないし、それで、3回だったものを4回にしていかななくてはいけないし。

例えば、真夏。仮に、暑い中、一番、草がぼさぼさするのでありますが、仮に、シルバーさん、暑いからちょっと大変だなというところであれば、造園屋さんを入れたりとかしながら維持をしていかななくてはいけないわけです。これ、10月末とか11月にやったって、結局、一番繁茂しているときにきちんとやっていかなければ、こんな状態がまた続いてしまうわけです。そういう意味で、予算は、これで大

丈夫なのですか、それとも、やっぱり増やしていく必要があるのですか。もう一度、聞きます。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

まず、予算については、やはり例年の規模というものがございますので、まずは、それがベースになるのだろうなと思っております。その上で、回数等が増えてくれば、そういったものは適切に行って、年間的な予算が不足するならば、そこは議会の中で補正予算等を上げさせていただくというような流れが適切かなと思っております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

例年どおりという予算の考え方もあるかもしれないですけども、やはり「日本一きれいなまち」ということで、見た目も人の心も。ただ、これだけ草ぼうぼうだと人の気持ちも萎えてきてしまいますので、やっぱり、こういったところはきちんとやっていっていただきたい。そこで回数が必要であれば、きちんと予算を確保していただいて、まずは町としても、これだけ45もある公園ですけども、きちんと管理していっていただきたい。

予算を含めて、町長、いかがでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

まず、最初に確認ですけども、今年度、昨年度もそうですけれども、予算を減らしたというわけではありませんので、その予算の中で、今年は運用の仕方も含めて、また、維持管理の仕方がうまくできていなかったという部分は、すごく反省をしなければいけないという部分であります。

それ以前にはきちんとできていた部分もあるわけですので、そういうことも含めて、これからもっともっと、年間、常に草が生えないようにきれいにするためには、やはり3回が4回、4回が5回にしていかななくてはいけない。そのための予算化は必要かもしれませんが、その辺は全体のバランスの中で考えていく必要があると思います。

公園の維持管理というのは、駅周辺、特に、みなみ地区も新しい地区ですので目につきますけれども、それ以外の多くを含めて全体の公園もありますので、そういうバランスの中で、いろいろなところもきちんと、ほかのところも話がありますので、予算化の中で考えながら、バランスを考えながらきちんと維持管理をしていく、きれいな公園、きれいな緑道を維持していきたいと思っております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

まずは、来年、そういったところをベースに、しっかりやっていただきたいと思っています。

それでは、先ほどから話があるように、町内に45の公園・緑地があるわけですので、ここを管理していくというのが本当に大変なことだということは私も認識しています。ですから、住民の皆さんの協力も必要だと思います。

私は、この9月から、駅周辺の草ぼうぼう状態、もう、さすがに我慢できずに有志で除草作業を始めました。2週間に1回程度、日曜日の午前中、軽トラ持参で行っていましたが、最初は5人で活動していたのですが、これ、いろいろな方に声をかけていただくのです。「いや、私も汚くて嫌だったんです。次は声をかけてください。手伝いますよ」。子供たちを連れて参加してくれたりとかという方もいるのです。開成町の皆さんというのは、このような気持ちを持っておられる方がたくさんいらっしゃいます。もっともっと、町が主導しながらでも、ボランティアでも多くの方々に協力していただいて維持管理していくことが必要だと思います。

そこで、2つ目の質問の公園ボランティアの現状と課題についてなのですが、現在も、現在は公園・道路緑地ボランティアというのですね。最初の答弁の中で、公園については14団体・個人、道路緑地については8団体・個人が登録されているとありましたが、これ自体は大変ありがたいことです。皆さんが、それぞれの考え方、それぞれのやり方で活動されていると聞いています。そして、登録されている方々の中には看板がついていると。

ただ、温度差も非常に多いとは聞いておりますので、こういうところも改善していかなければいけないのかなと思いますけれども、まず、多くの方々にもっと協力していただくためには、この公園・道路緑地ボランティア制度をもっと町民の皆さんにしっかりとお知らせして、幅広く登録して活動してもらおうという工夫も必要ではないかと思いますが、現状の周知の仕方というのはどのようなことでやっていますか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

現在、公園・道路緑地ボランティア制度については、町のホームページであったり町のおしらせ版等に掲載をさせていただきまして周知をしているところでございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

現状、ホームページとお知らせ版ということなのですが、もう少し声のかけ方によっては参加していただけるのではないだろうかと思っています。確実に周知して、町民のほとんどの方にまず知っていただくということが、より、もっと大切だと思いますので。例えば、開成町のラインとかもあるじゃないですか。フェイスブックとかも、ありますよね。こういったことでお知らせすることもできると思いますし、例えば、広報を配布するときに、ホームページにあるような1枚もののチラシとかもあるわけです。こういったものも入れながら、もっともっと多くの方々に参加していただいて「日本一きれいなまち」を一緒につくっていかうと、そういう姿勢が必要だと思うのですが、いかがでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

やはり、議員御指摘のとおり、情報発信というのはとても大事な事かなと思っています。特に、今の情報化社会の中ではSNSというのが大事なツールだろうなと感じておりますので、こういったことについての活用ということについては検討していきたいと思っています。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

ぜひ、お願いします。

それから、もう1点。ボランティアといっても、ボランティアの気持ちを高めてもらうのは、やっぱり様々ないろいろな考え方というのが今後必要かと。よく言われるのが、自治体ポイントだとかボランティアポイントなどの仕組みを取り入れているところもあります。

そこについて1点、お聞きしたいのですが、昨年6月の議会で同僚議員の一般質問の中でこんな質問がありました。テーマは、公園のさらなる利活用促進についての質問でした。答弁では、公園ボランティアについてです、ボランティア活動ということを進めるといふ点におきましては、何か考えなくてはいけない。例えば、ボランティアポイントというものを導入して、そのポイントに応じて還元していくという事例も聞いている。開成町に合った形の中でボランティア活動を発展させていくということでは、いろいろなことを調査研究していきたいと思っている。このような答弁をしています。1年半たちましたが、この調査研究では、どのような結果になりましたでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

ボランティア活動ということで、様々なものがあります。その中で、今回でいうと公園・道路緑地ボランティアというものがあって、そういうような以前の御質問を受けたというのは承知をしてございます。今回の緑地等のボランティアに関しては、まずは、そういった部分に関して、どういう形でできるのかなという部分では、ほかの事例も調べてはおるのですけれども、開成町の中で、どう当てはめるかというのは、今、現状、難しいのかなと思っています。

そういう部分では、まずは、そういったボランティア活動の促進という部分では、研修会という形の中で、今、開成町の中では取組も進めておりまして、そういう中で御参加いただいた方については、おおむねよかったというような御回答を頂いておりますので、まずは、そういったところを重点的にやっていくべきかなと考えているところでございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

昨年の6月からのボランティアポイント等とかということは、あまり進展なく進んできたというふうに今のお話だと伺えたのですが、やはり今後のボランティアというのは、ただ無償ボランティアではなく、何か、そこに、メリットとは言わないけれども、やりがいのあるようなものというのは考えていく必要が絶対にあると思うのです。ただ、ごみ袋と手袋を提示するというだけではなく、ほかでやっていなくても開成町でやれることは、もしかしたらあるかもしれない。そういったことを、しっかり考えていっていただきたい。これは、公園の今回、除草の話をしていましてけれども、いろいろなことを踏まえてやっていけるのではないかと。

1つ、私からの提案というか思いつきですけれども、思うのですが、例えば、除草作業をしてボランティアをしていくと町内で一定のポイントがたまっていく。そのポイントがたまると、町内の学校の図書室に本をプレゼントできる。面白くないでしょうか。私、教育委員もずっとやっていたときがありまして、やっぱり図書ということをしごく意識していきまして、それでも図書の量がもっと多くなれないかなという思いがすごくありました。草むしりしていると、子供たちのために学校図書が増えていく。何か、すごくやりがいを感じられるのではないかとと思うのです。

これは一例ですけれども、ほかがやっていなくても、幾らでも開成町らしい形で、仮に除草作業であっても、やりがいを感じることは考えられると思うのです。ぜひ考えていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

どちらがお答えしますか。副町長。

○副町長（加藤一男）

大変すばらしい提案をありがとうございます。今、図書の話が出ましたが、それ以外のものも検討を進めながら。実は、私も地元でボランティアを一生懸命やっているわけですが、そこには多少のお小遣いが入ってくるとか、そういうのがあります。確かに、それがあるとやりがいも出ますので、そういったことを町全体で広めていきたいなと思っております。

先ほどの周知の方法ですけれども、フェイスブックだとか、そういうものも利用しながら今後も進めていきますので。これ、ちょっと課が飛びますので、今、お答えになかったのですが、私のほうで調整はさせていただきます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

ぜひ、しっかり考えていただいて、しっかり開成町らしく実現していただきたい。やりがいのある、そして「日本一きれいなまち」を本当につくっていきましょうよ。町長が言っておられるのですから。そして、町が率先して行動していけば、先ほども話をしましたけれども、その姿を見て地域の皆さんも積極的に協力していただけると私は思っています。来年は予算をしっかりと足りなければ増加し、シルバーさんが、もし、できない時期とか、そういったものがあるのであれば、業者さんにしっかりお願いして、地域の皆さんの協力も仰ぎながら、ぜひ「日本一きれいなまち」をつかっていこうではありませんか。今年と同じことを、ここ最近、数年と同じことはやめましょうよ。いかがでしょう、町長。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

今、武井議員は草の除草の関係のボランティアの話がありましたけれども、それ以外にもボランティアというのは様々、子育ての関係、保健の関係、福祉の関係、様々なボランティアをしていただいている方がたくさんおられます。町としても、これから協働の事業の中で、町民センターの2階を改修して、ボランティアの団体の皆さんや町民活動応援事業をしていただいている皆さんに補助金を出したりしながら、様々な啓発をしております。そういう拠点を今度は町民センターの2階につくりますので、そういうふうな様々なボランティアの人たち、除草だけではなくてね、が、うまく町民の皆さんがまちづくりに参加していただけるようなこととはすごく大事だと。

その中の1つとしてポイント制度とか、様々なことが考えられると思います。様々なボランティアをしている皆さんが気持ちよく町のために活動していただける、協働という中で事業が進めていけるようなことをこれからも考えていく必要があります。そういった中で、除草関係については、今年のようなことが来年度はな

いように、それは予算等も含めてきちんと考えていきたいと思っております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

今回のテーマとして、駅前緑地や公園、45もある公園というところをベースで、除草も含めて、ボランティアも含めて話をさせていただきました。もちろん、それ以外にいろいろなボランティアもたくさんありますので、そこは、また、今、町長がおっしゃったようにやっていっていただきたいと思います。

それから、「日本一きれいなまち」、そして、庁舎は現状、日本一きれいな庁舎です。日本一きれいな庁舎ですから、「日本一きれいなまち」を本気で目指してやっていっていただきたいし、私たちも、できることは一生懸命やっていきます。もし、今回のこの課題について、来年、改善されていない場合は、来年、私は、またこの12月、この議会で質問したいと思います。この問題は町民全体の問題ですので、よろしくお願いします。

では、時間になりましたので、ここで質問を終わらせていただきます。

○議長（吉田敏郎）

これで武井議員の一般質問を終了とします。